

NEOCUT WOOD

ネオカットウッドデッキ

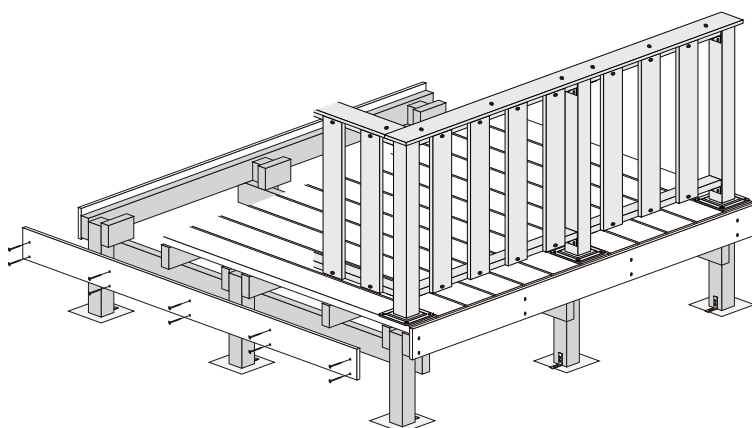
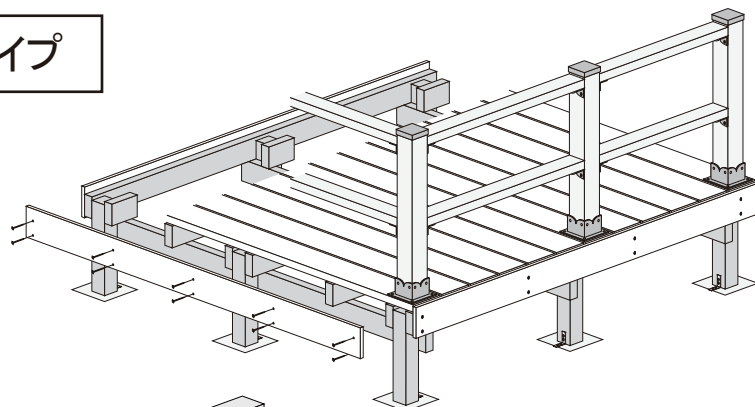
デッキ用手摺 取扱説明書

目次

No.146:22-02版

①お取り扱い上の注意	… 1
②梱包内容	… 2
③-1 Rフェンスの各部名称と基本寸法	… 3
③-2 Rフェンスの施工	… 4
Rフェンス1段/2段・Rフェンス縦張り	
④-1 人工木手摺の各部名称と基本寸法	… 5
④-2 人工木手摺の施工	… 6
クロスタイプ・溝落し込みタイプ	

人工木柱タイプ



アルミ柱タイプ

「ネオカットウッド商品」デッキシリーズのお知らせ

従来の人工木柱(90角)タイプとは別に、アルミ柱仕様で見た目もスッキリした「Rフェンス」が登場しました。

使用箇所	ZENデッキ / STデッキ用手摺 「Rフェンス」			
姿図				
品名	Rフェンス1段	Rフェンス2段	Rフェンス縦張り H800	Rフェンス縦張り H1000
型番	R1	R2	RT80	RT100
寸法	H800 / H1000	H800 / H1000	H800	H1000

【施工前のご確認のお願い】

- 商品発送は細心の注意を心掛けておりますが、作業遅れなどのトラブルを未然に防ぐために、お受取の際は届いた商品内容を一度ご確認ください、万が一不足や破損等がございましたら至急ご連絡をお願い致します。
- 各商品とも薄い部材や熱変形の恐れがあるため、立て掛けたり平らでない場所や日差しが強い場所に保管しないでください。
- 本商品は素材の性質上熱による伸縮がありますので、本内容を正しくご理解した上で施工、お取扱い等お願い致します。

①お取扱い上の注意

■取扱い上の注意－1

保管上の注意

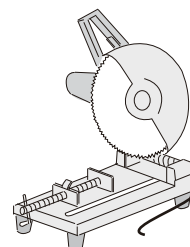
- 本商品、特に長尺物は立て掛けたり平らでない場所や日差しの強い場所に長時間置くと変形が生じ、施工時に支障が出ますので、コンクリート土間や枕木上等の平らな場所をお選びください。
なお、若干の曲がりや施工時に固定することで解消されますので品質上での問題はありません。
- 本商品は、水気や湿気の多い場所に長時間放置するとカビ等の原因となりますのでお避けください。
- 商品は熱を発生するものの近くには置かず、重ねる際は荷重が集中しないようにしてください。

■取扱い上の注意－2

施工上の注意

- 本商品は熱による伸縮があるため、躯体や障害物がある場合は隙間を十分取ってください。
- 本商品は一部に樹脂が含まれるため、日中や強い日差しで高温になります。素手もしくは素足で触れると火傷の恐れがありますので、施工時は保護具を使用してください。
- 本商品はペンキは使用できません。
- 本商品は釘を使用できませんので、固定する場合は商品素材を考慮したドリルビスや木ビスを使用し、必要に応じて下穴を開けビスで固定してください。
- 本商品を加工する際は、大型かつ据置式の丸鋸(刃数60～80ピッチ)をご用意頂き、人工木材のみ場合は木工用チップソー、アルミ材入りの場合はアルミ用のチップソーをお使いください。その際は切断面に注意し、面取り加工などの対策をしてください。
- 本商品の笠木や板材など比較的薄い商品や、中空材は若干の曲がりがありますが、品質上の問題はありませんので、手摺柱にしっかり固定してください。
- 格子や笠木内部に水が溜まる可能性がある場合は、中空部下面に水抜き穴(6～8mm)を設けてください。

○「ネオカットウッド」
表面温度が40℃変化
⇒ 1mあたり約2mm伸縮



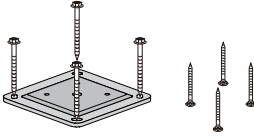
「据置式丸鋸」
刃物直径300mm以上
(刃数60～80ピッチ)

お手入れについて

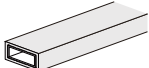
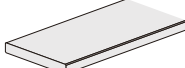
- 人工木材表面に万が一傷が付いた場合は、サンドペーパー(#60程度)やヤスリ等で長手方向に擦ると目立たなくなります。
- 人工木材表面に付着した汚れはシミやカビの原因となりますので、以下の方法を参考にして早めに取り除いてください。
 - ・通常の清掃時
⇒ ホースによる水洗いや汚れに応じてブラシを使用(雨天後に習慣的に行うとより効果的です)
 - ・汚れが染み込んで水洗いでも落ちない場合
⇒ 真鍮ブラシや高圧洗浄機を使用(鉄製ブラシの場合は商品を傷付ける恐れがあります)
(真鍮ブラシや高圧洗浄機は市販のもので構いません)
 - ・上記方法でも汚れが落ちない場合
⇒ 十分な清掃後に中性洗剤を使用してタワシやブラシで擦ってください。
※中性洗剤で落ちない場合は、十分な水洗いをした上で次亜塩素酸系漂白剤(ハイター・カビキラー等)を使用してください。
※漂白剤を使用する際は、商品の使用方法・注意事項を良く読み、内容を理解した上で使用してください。
※洗剤・漂白剤を部分的に使用すると部分的に白くなる場合がありますので、全体に渡って使用することをお勧めします。
※漂白剤を使用した場合は、漂白剤が残らないように完全に水で洗い流してください。その際、洗い流した水で植栽を枯れるなどの悪影響を与えますので、十分注意してください。
※漂白剤塗布後、長時間放置すると部分的に白くなる場合がありますのでご注意ください。

②梱包内容

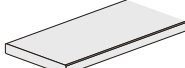
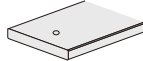
■「Rフェンス」 アルミ手摺柱

手摺柱(キャップ付)	部品
H800 1.5 kg H1000 1.8 kg 60角柱用キャップ UC	60角柱用プレートUC 六角ボルトビス5.6×65UC 皿ドリル 4×50 ステンGB
	

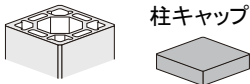
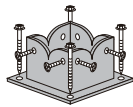
■「Rフェンス」 1段/2段

格子	笠木	部品
L840 1.1 kg	L2000 4.0 kg	LアングルUC なべドリル4×19頭部UC 皿ドリル 4×30 ステンGB 穴位置決め治具
		

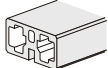
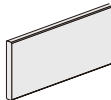
■「Rフェンス」 縦張り

格子	笠木	縦板	部品
L840 1.1 kg	L2000 4.0 kg	H800 1.3 kg H1000 1.6 kg	LアングルUC なべドリル4×19頭部UC 皿ドリル 4×30 ステンGB 手摺笠木穴位置決め治具
			

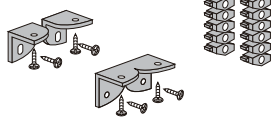
■人工木手摺柱

手摺柱(キャップ付)	部品
H830 4.3 kg H1030 5.1 kg 柱キャップ黒	柱固定金具プレート付 六角ボルトビス5.6×65鉄黒 皿タッピング5×16ユニクロ頭部黒
	

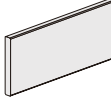
■人工木手摺 笠木タイプ

笠木・下枠	部品	人工木パネル	部品
L810 1.8 kg	下枠金具 鉄 黒 皿タッピング5×16頭部黒	L2000 5.8 kg	SWドリル5×35
			

■人工木手摺 溝落とし込みタイプ

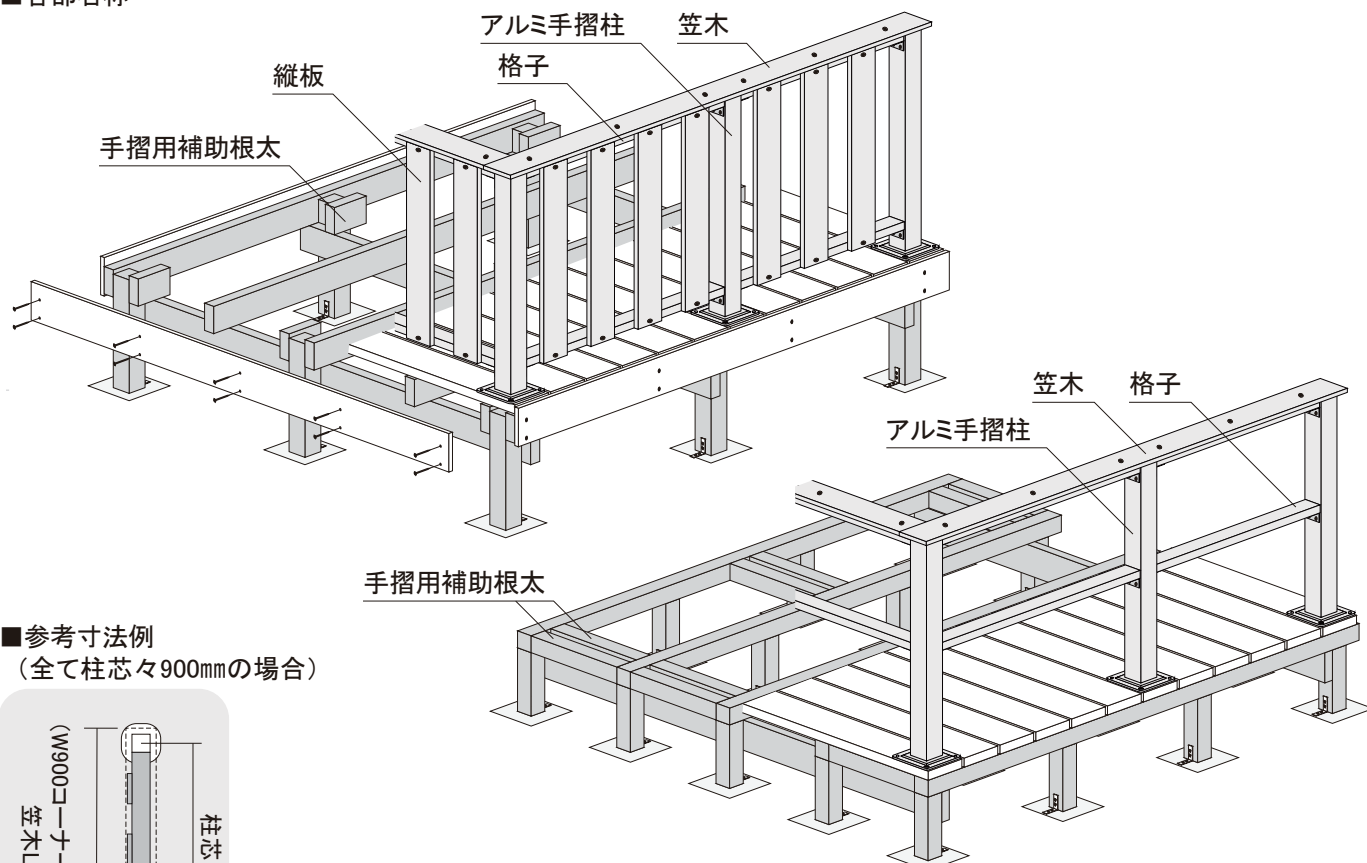
笠木・下枠	人工木パネル	部品
L810 1.8 kg	L840 2.4 kg	笠木取付金具L・R 鉄 黒 下枠金具 鉄 黒 皿タッピング5×16頭部黒 隙間ブロック15mm幅用
		

■人工木手摺 クロスタイプ

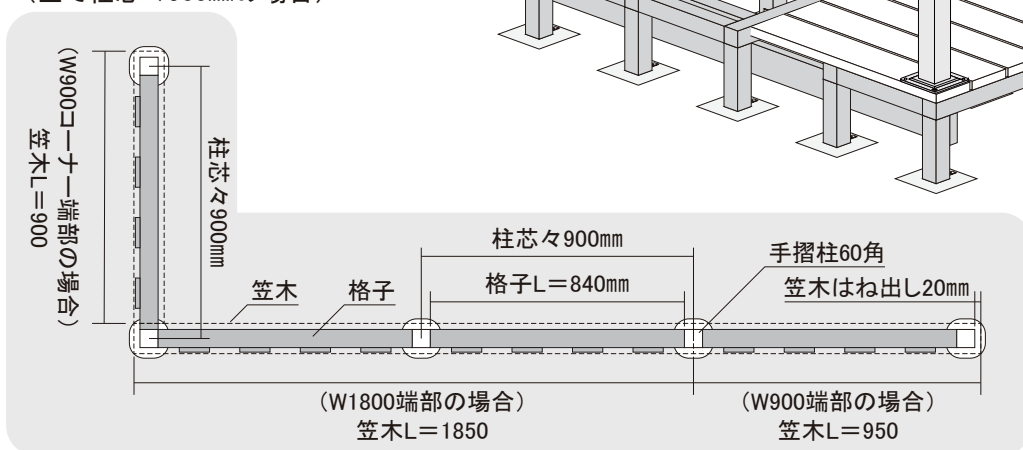
笠木・下枠	人工木パネル	部品
L810 1.8 kg	L2730 7.9 kg	笠木取付金具L・R 鉄 黒 下枠金具 鉄 黒 A皿タッピング5×16頭部黒 Aバインドタッピング5×16頭部黒 トラス M4×35 ステンGB セルフロックナット
		

③-1 Rフェンスの各部名称と基本寸法

■各部名称



■参考寸法例 (全て柱芯々900mmの場合)



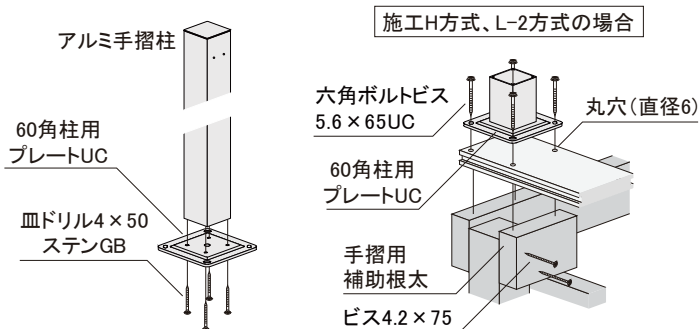
■基本寸法

タイプ	Rフェンス 1段	Rフェンス 2段	Rフェンス 縦張り ※隙間()寸法は任意となります。
H800			
H1000			

③-2 Rフェンスの施工

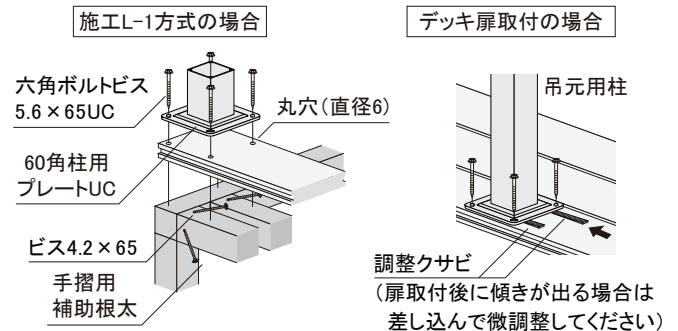
■アルミ手摺柱の取付

- ①アルミ手摺柱に柱用プレートを固定してください。
- ②土台部に手摺用補助根太を固定してください。
- ③床板取付後にデッキに仮固定し、手摺組立後にボルトビスを本締めしてください。



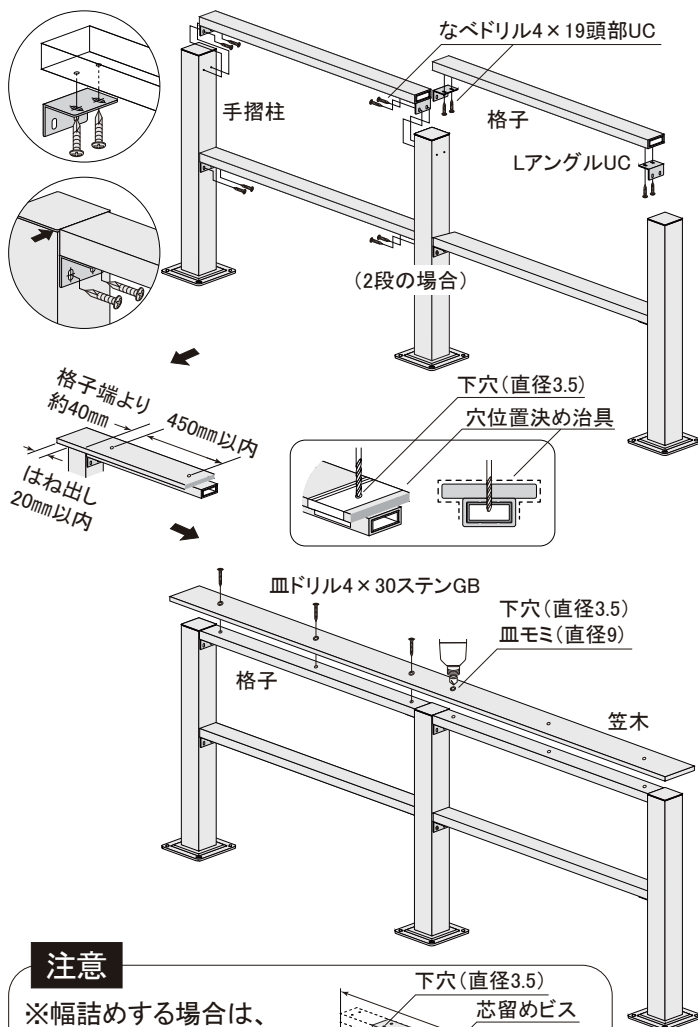
注意

※手摺柱は最後に必ず根太としっかりビス固定してください。
※手摺柱は下穴や取付位置に注意して固定してください。



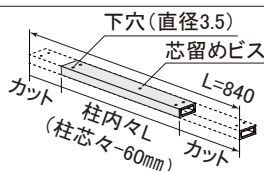
1段 / 2段

- ①Lアングルを固定した格子を、柱上端を揃えながら手摺柱に固定してください。
(Lアングルはガイド等使用をしながら固定してください)
(2段の場合は柱中央部の下穴に格子を固定してください)
- ②穴位置決め治具を使い、笠木と格子(上面のみ)に下穴をあけてください。
- ③笠木に皿モミ加工をし、格子に固定してください。



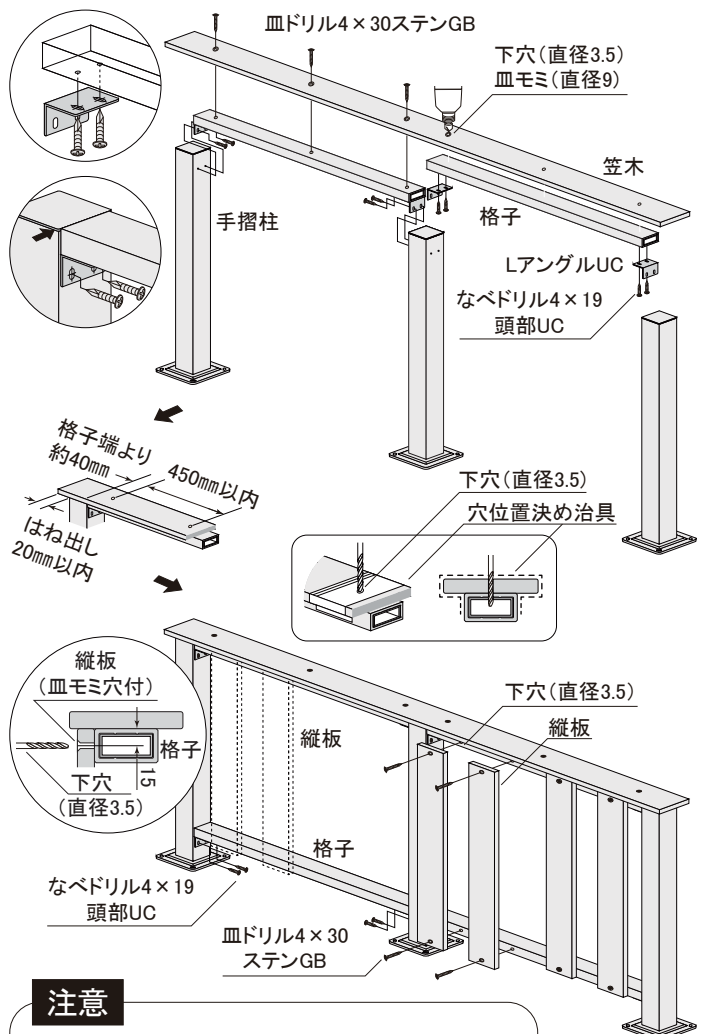
注意

※幅詰めする場合は、
格子中央部の芯留め
ビスを残してカットし、
下穴をあけてください。



縦張り

- ①Lアングルを固定した格子を、柱上端を揃えながら手摺柱に固定してください。
(Lアングルはガイド等使用をしながら固定してください)
- ②穴位置決め治具を使い、笠木と格子(上面のみ)に下穴をあけてください。
- ③笠木に皿モミ加工をし、格子に固定してください。
- ④下段の格子は、縦板で位置を確認し仮固定してください。
- ⑤縦板をあてながら格子に下穴をあけて固定し、本締めしてください。

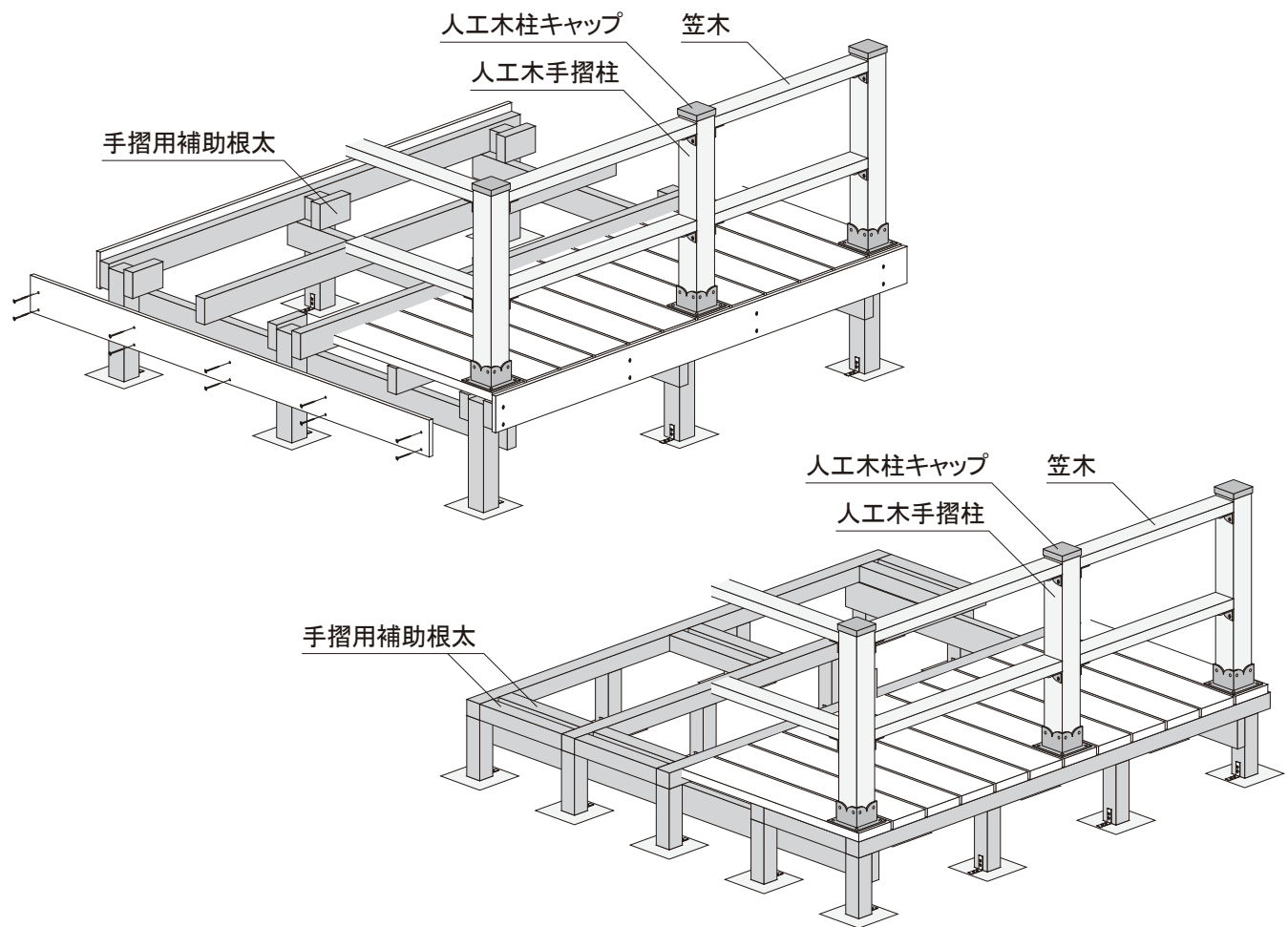


注意

※下段の格子は一度仮固定し、縦板固定後に
ビスを本締めしてください。
※縦板は皿毛ミ穴加工側を表としてください。

④-1 人工木手摺の各部名称と基本寸法

■各部名称



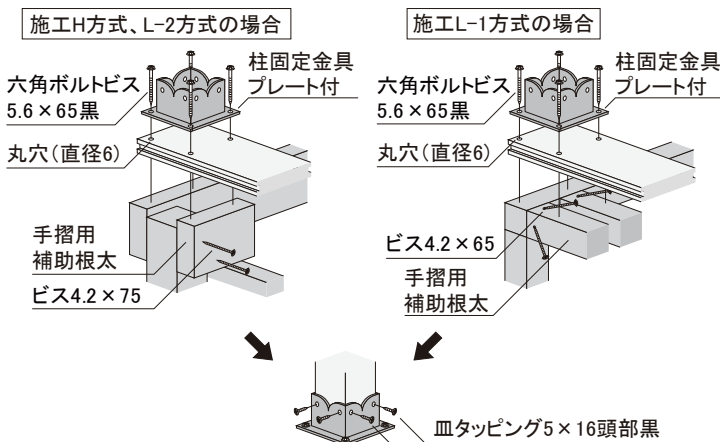
■基本寸法

タイプ	笠木2段タイプ ※笠木位置は任意となります	横板張りタイプ ※パネル隙間は任意となります	溝落し込みタイプ ※() 寸法は任意となります。	クロスタイプ ※() 寸法は柱芯々900の場合
H830				
H1030				

④-2 人工木手摺の施工

■人工木手摺柱の取付

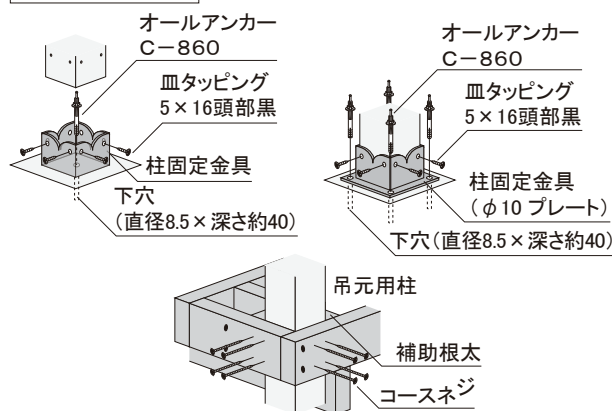
- ①土台部に手摺用補助根太を固定してください。
- ②床板取付後に柱固定金具を仮固定し、手摺を取付後に手摺柱をしっかりと固定してください。



注意

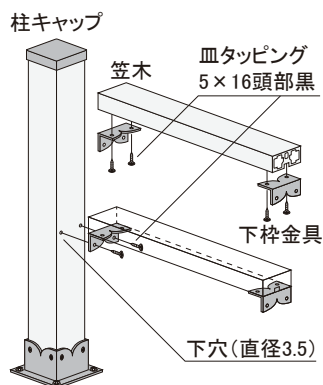
※手摺柱は最後に必ず根太としっかりビス固定してください。
 ※クロスタイプ、笠木タイプ、横板張りタイプは、笠木や下枠、パネルの位置が任意のため、柱側に下穴をあけてから固定してください。

立上げ用柱の場合 (必ず土台部とあわせて固定してください)



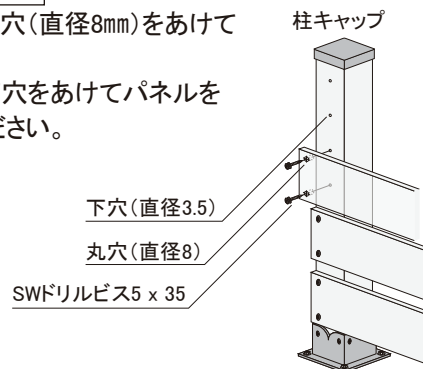
笠木タイプ

- ①笠木に下枠金具を固定してください。
- ②手摺柱に下穴をあけて笠木を固定してください。



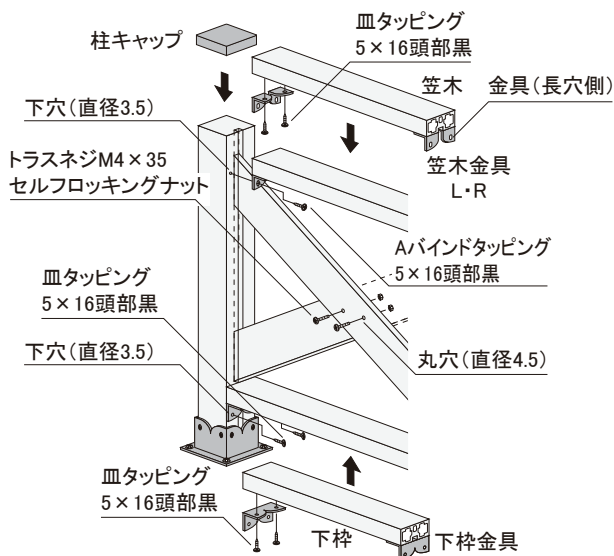
横板張りタイプ

- ①パネルに丸穴(直径8mm)をあけてください。
- ②手摺柱に下穴をあけてパネルを固定してください。



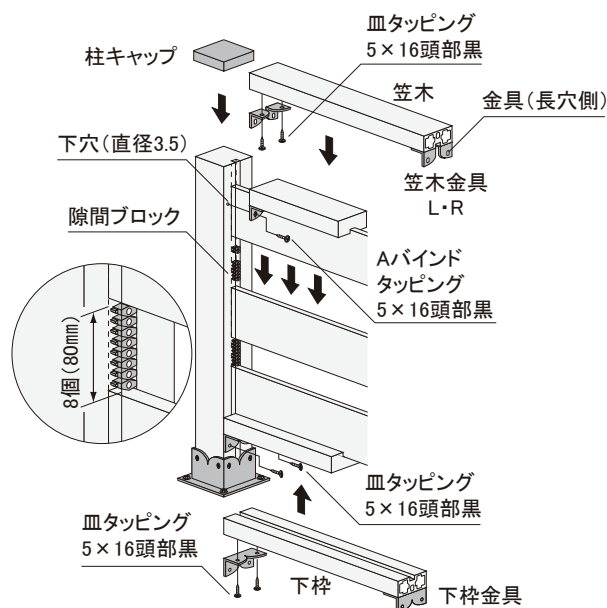
クロスタイプ

- ①下枠に下枠金具を固定し、手摺柱に下穴をあけて固定してください。
- ②パネルをカットし、湾曲させながら柱溝に落し込んでください。
- ③笠木に笠木金具(丸穴側)を固定し、手摺柱に下穴をあけて金具(長穴側)で固定してください。
- ④パネルの重なる部分に丸穴をあけてネジで固定し、最後に柱キャップを取付けてください。



溝落し込みタイプ

- ①下枠に下枠金具を固定し、手摺柱に固定してください。
- ②パネルと隙間ブロックを柱溝に交互に落し込んでください。
- ③笠木に笠木金具(丸穴側)を固定し、手摺柱に下穴をあけて金具(長穴側)で固定してください。
- ④最後に柱キャップを取付けてください。



お施主様へ

⚠必ずご確認ください

ネオカットウッド商品を快適にお使い頂くために、お施主様にお渡し、ご使用前にお読み頂き、保管してください。

ご理解ください

天然木の木粉を使用している人工木材の特性上、部材ごとに色の濃淡の差が出る場合があります。
木材に含まれる粒子状の成分が表面に浮き出る場合があります。

ご使用上の注意

1. デッキの上では必ず履物を履いてください。

デッキは日中、日差しが強い時など高温になります。素足で歩くとやけどをする恐れがあります。
特に幼児が使用される場合は注意してください。

2. 表面に付着したシミや汚れは早めに取り除いてください。

天然木同様に、ホコリや汚れを長時間放置すると、シミや黒ズミ、カビの発生原因となりますので、こまめに汚れを取り除いてください。(下記の「お手入れについて」を参照してください)

3. 衣類・布団・洗濯物などをデッキや手摺に置かないでください。

表面のこすれや経年変化により発生した粉が、直接あるいは雨水などと混じり衣類等に付く場合がありますので、衣類・布団・洗濯物などが直接触れないようにしてください。

4. 以下のような、部材の変形や破損を招く行為はしないでください。

- ・デッキ上やデッキ付近で暖房器具やコンロなど、熱を発生するものの使用。
- ・手摺リフェンスに登ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりなどの過度な負荷。
- ・手摺リパネルにボールをぶつけるなどの強い衝撃。
- ・デッキ上への重量物の長期間の積載。
- ・規定の荷重を超える使用。(最大荷重180kgf/m²)

お手入れについて

通常の清掃 ⇒ ホースやブラシによる水洗い

①ホースによる水洗い

雨天の後に習慣的に
行うとより効果的です。



②ブラシによる掃除

汚れがひどい場合は、
ブラシ掛けを並行して
行ってください。



水洗いで落ちない場合 ⇒ 真鍮ブラシや洗浄機、洗剤によるこすり洗い

①真鍮ブラシで表面を擦る

商品を傷付けないよう必ず
真鍮製を使用してください。



②高圧洗浄機を使用

真鍮ブラシや高圧洗浄機は
ホームセンターなどで購入
できます。



③洗剤を使用する

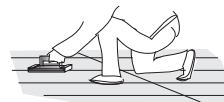
- ・十分な清掃後、中性洗剤を使用してタワシやブラシでこすってください。
- ・中性洗剤で落ちない場合は、十分な水洗いをした上で次亜塩素酸系漂白剤(ハイター・カビキラー等)を使用してください。

《注意》

- 漂白剤を使用する際は、商品の使用方法・注意事項を良く読み、内容を理解した上で使用してください。
- 洗剤・漂白剤を使用した場合、白っぽくなる場合がありますので、全体に渡って使用し、使用後は長時間放置せずに十分水で洗い流してください。
- 漂白剤を使用した後、洗い流した水が植栽にかかるると枯れるなどの悪影響を与えますので、十分注意してください。

表面に傷がついた場合 ⇒ サンドペーパーで擦る

市販のサンドペーパー(＃80程度)を使用し、筋目に
合わせて周囲となじませるように仕上げてください。



「ネオカットウッド商品」に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

NEOCUT WOOD

(株)高儀 エクステリア事業部

〒955-0814

新潟県三条市金子新田乙945-29 TEL:0256-36-7800 FAX:0256-36-7160